

## 働く人のウェルビーイング実現を



洗田美羽講師

今回は、「私たちの生活を健やかにするためのルール」労働法とウェルビーイング（個人が身体的・精神的・社会的に満たされ健康な状態）について研究です。



(イラスト：教育学部4年 関川智乃)

# 制度を広く深く検討

探究心旺盛な小中高生（46）に向けて、トナリ労働による健康への被害が多発して



((46))

り、働く人のウェルビーイングへの関心が高まっています。私たちがより快適に働くためにはどうしたら良いのでしょうか。

私前大の洗田美羽先生は働くことに関わる諸課題について、フランスを中心に他国と日本の労働法を比較検討し、その解決策を研究しています。

▽女性の健康課題に  
対する国の取り組み  
月経や更年期症状など、女性特有の健康課題への対応は、社会的

に施行された労働基準法により、月経（生理）休暇の取得が権利として認められています。これは、国の法律として生理休暇を取り扱う世界で最も早い事例です。しかし、所得保障が定められていないこと、自らの健康や性まつわる情報を上司へ申告することへの心理的なハードル、プライバシーの課題もあり、実際の取得率は0・9％と非常に低いのが現状です。

「ウェルビーイング」など、症状名を明示しない形で休暇を取得できる制度を整備することで、心理的ハードルやプライバシーを保護することは可能です。ただし、症状名を伏せることで、女性が抱える健康課題が社会的に見えにくくなってしまうという側面もあります。そのため、制度

の根拠や目的、法定休暇に限らず、さまざまな方法が考えられることも含めて広く深く検討していくことが大切です。

▽最後に、洗田先生からのメッセージ  
働くことは、ほぼすべての人の生活基盤であり、人生の多くを費やすものです。働くことを規律する労働法は、学問として重要というだけでなく、皆さんや身近な人を守る重要な視点の一つといえます。1人でも多くの方と共に学び、労働法を使いこなす知識として身に付けてもらいたいのです。



フランス国民議会議事堂（ブルボン宮殿）

第46回の先生  
洗田 美羽講師  
【人文社会科学部/社会法研究室・グローバルWell-being  
8総合研究所兼任教員】

「質問」水は水素と酸素が結合してできたのに、どうして電気分解をすると、また水素と酸素に分けることができるのですか？  
（ペンネーム：おこめさん）

「回答」化学反応は、すべて「電子」の動きが原因で起きている。原子や分子は、電子が一定安定する状態（化学反応・結合）になろうとします。身近な例がリチウムイオン電池です。何もしないと水素と酸素が結合して水ができるよ

私「なして？」に  
お答えしました。



私前大教育学部  
長南幸安学部長教授

※この画像は、当該ページに限り陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。 令和8年8月31日 陸奥新報掲載